

うぐいす



古墳時代の建物はなぜ焼けた？ ～長内遺跡発掘調査報告～



出土した土師器の壺

館矢間地区の長内遺跡について平成29年度に道路改良工事に伴い発掘調査を行いました。調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

竪穴建物跡5棟のほか多数の土器が発見されました。見つかった土器などを調べたところ、このうち4棟が古墳時代前期（今から約1600年前）、1棟が9～10世紀頃（今から約1000年前）の古代の建物跡であることがわかりました。

古墳時代の竪穴建物跡は4棟とも多くの炭が見つかっており、火災により、焼失した建物であると考えています。焼失の原因については、争いによる火災、建物からの失火による火災などが考えられますが、確実な証拠は無く、不明ですが、建物跡の中でまとまった状態で土器が発見されていることから、突然起った火事で土器などの家財道具を持ち出す間も無く家が焼け落ちたと考えられます。また、建物の焼失後に埋め戻しなどの後始末がされた痕跡が見られず、自然の土砂の流入によって建物が埋まっている事から、焼失後は復旧されず、しばらくの間、人が住んでいなかったものと見られます。

発見された竪穴建物跡(古墳時代前期、丸が炭がある部分)



出土した遺物(竪穴建物跡の1つから出土)



土器がまとまって発見されたということは、当時の生活の中で使われていたものがそろった状態で残されているということになり、当時の生活様式を知る事ができる資料として大変貴重です。

町民の皆様には来年度、報告書が刊行された後に、まるもりふるさと館にて、発見された土器などを展示しますので、古墳時代の生活の様子をご覧になって下さい。

社会体育団体紹介 丸森町子ども会育成会

丸森町子ども会育成会は各地区の子ども会育成会との連絡調整を行い、子どもたちの健全育成のために活動しています。主な活動として、町内5、6年生を対象にした山の子キャンプ、ジュニア・リーダー初級研修会、家庭教育セミナーなどを教育委員会やPTAと共催して行っています。

「昔は悪いことをしていたり、危険な現場を見かけたら、よその子どもだろうと注意していた。今では注意することをためらうようになった。地域の繋がりが希薄になっていることも影響しているのだろうが、地域で子どもを育てることが大事。」と海川会長は話していました。

少子化の影響で、子ども会の活動を縮小している地区や参加に消極的な家庭も見受けられます。しかし、子ども会の活動に参加することで、横の繋がりでなく年齢の異なる子どもたちが一緒に活動することができます。縦の繋がりを経験することは、社会性を学ぶ良い機会になることと思います。また、子ども会に限らず地区の行事などに積極的に参加し、地区の方と顔見知りになることで、防犯の効果も期待できます。昔と現在では家庭環境も生活環境もだいぶ変わってしまいましたが、子どもの本質は何も変わっていないので、地域全体で子どもの成長を見守っていけるような町を目指して活動を行っていくそうです。



JL初級研修会（7月）



家庭教育セミナー（9月）



山の子キャンプ（H28年8月）



山の子キャンプは台風の為、H29・30年度と残念ながら中止となりました。

H31年度は天気恵まれるといいですね！！

11月のこよみ

- 3日（土）丸森町総合文化祭（丸森まちづくりセンター）
～4日（日）
- 11日（日）丸森ウォークラリー大会（不動尊ラインガルテン周辺）
- 16日（金）ニュースポーツ普及研修会（大内まちづくりセンター）
- 18日（日）丸森町芸能発表大会（丸森まちづくりセンター）
- 24日（土）女性講座「クッキング教室」（丸森まちづくりセンター）
- 25日（日）仙南JL交流会「アンジャム」（丸森まちづくりセンター）

